

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和元年 9 月 6 日掲載

1年1組 田中清顕

プロのスタントマンが来られて、交通事故の再現を見せてくださる交通安全教室に参加しました。僕はこのような教室に参加するのは初めてだったので、少し恐怖心がありました。なぜかという、今年4月に京都でスタントマンの方が事故の再現中に亡くなられたというニュースを、前日教頭先生から聞いていたからです。今回、何事もなく交通安全教室が終わったので、よかったと思いました。スタントマンの方が命がけで再現してくださって、たくさんのものを得ることができました。

まず、僕は自分の自転車の運転の仕方を見直しました。僕はこれまで、よく手を離して運転することがありました。事故の再現では、手を離して自転車に乗っていた人が、車とぶつかって飛ばされたり、違うことをしながら運転していた人が他の自転車とぶつかって怪我をさせていました。僕は手を離して運転することは、とても危険な運転だということがわかりました。これからはちゃんとハンドルをにぎって、安全運転を心がけていきます。そして危ない運転をしている人がいたら、自分から注意したいです。

今回、実際にスタントマンの方に来ていただいて、危険な場面を見るという貴重な経験ができ、命について考えることができ、良かったです。